

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	鹿児島大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カゴシマダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F146110111620
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	鹿児島県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	海洋土木学外実習
	学部・研究科等名	工学部 先進工学科 海洋土木工学プログラム
	担当教職員名・役職	木村至伸:准教授、白澤直:非常勤講師
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	47
	受入企業等数	60
	受入企業等名	(株)大林組、清水建設(株)、五洋建設(株)、東洋建設(株)、他30社 国土交通省(九州地方整備局)、国立研究開発法人港湾空港技術研究所、鹿児島県庁、大分県庁など
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	大学での講義からいったん離れ、学外(受け入れ先)で実際の計画・施行などに従事することは、学習の理解を深める上でも、また将来の技術者としての心構えを考える上でも意義深い。社会人の生の声を聞くことで、卒業後の進路決定に役立てることができる。この科目は夏期休暇中に約2週間以上の期間、官庁、企業などで海洋土木に関連する業務の実習を行うものである。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している 9.その他
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	授業期間中に事前指導(業界・企業研究説明会など)・事後指導(報告会)を実施
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	3年次を対象に、前期期間中に業界・企業研究説明会などを実施し、学生の希望に基づいて受入企業先を決定する。夏季休業期間中に2週間の就業体験を行い、後期期間中には実習報告会を実施している。実習終了後の実習報告レポート、実習終了後に開催される報告会での実習内容に関するプレゼンテーション、実習受け入れ先の担当者からの研修報告書を基に単位の判定を行う。単位認定は1単位である。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	・キャリア教育(非常勤講師:1回) ・ビジネスマナー講習(非常勤講師:1回) ・業界・企業研究(担当教員、非常勤講師:4回)
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	・実習終了後の実習報告レポート作成 ・実習終了後に開催される報告会での実習内容に関するプレゼンテーション ・教員との意見交換
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	就業体験実施期間中のモニタリングは実施していない
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	報告会を開催しており、複数教員によって内容を評価している。評価基準はシラバスに従って評価している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	実習期間:2週間(実働10日間)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	受入先において、2週間(実働:10日間)の就業体験を行っている。事前・事後学習は、この期間には含まれていない。

項目	確認事項	届出内容
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	学生が希望する実習先の担当者と担当教員が事前に実習内容等について打ち合わせを行っている。その後、必要に応じて学生も交えた意見交換も実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus11.kuas.kagoshima-u.ac.jp/showDetail/ja/8027
問い合わせ先	大学等名	鹿児島大学
	担当部署名	理工学研究科等 研究科・工学系学務課 学生係
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	梅田 公貴
	電話番号	099-285-3264
	メールアドレス	egakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp